

「レイラ」

ふたなりバトルの常連で勝率が高く、プライドが高い。
セレナとは今回で初対戦。
生意気な新星を肉奴隷にするべくリングに上がる。



『セレナ』

ふたなりバトルの気鋭新星。お嬢様らしい。
レイラ先輩を屈服させたい一心で、
相手を肉奴隷にする権利を賭けて闘うデスマッチに挑戦。



【試合スタートです～！皆さん今夜も始まりましたあ！私達ふたなり女子の秘密な夜遊び♡】

【それにしても最近またメンバー増えてない？ジムいっぱいの子の匂い...んふうんアタシもうダメかもお？！】

【とりあえず今対戦中のは大人気のレイラさんと、最近このジムに来たセレナちゃん！先日口喧嘩した二人がまさかの肉奴隷デスマッチです！】

【っていうかいつそんなルールでっちあげたあ？】

【たまにはいいじゃない？どちらも、相手が完全降伏するまでやめないとってます♡】

【ではみんなも好きに楽しんじゃいましょう～！】



「セレナ...っ、いい加減にし...ッ、ああッ！そこコスコスしちゃだめえ...
ッ、んあッ！」

『ふんっ、そんなもの？あの偉そうに威張ってばかりのレイラ様がこおん

なにすぐにギブアップしちゃうなんて...っ！くすっ、大したことないわねえ』

「は、はあ？ギブアップなんてそ、そんなわけないでしょ...っ！あつ、んはああッ！あんたなんかに屈服するなんて...っ、私がそんな...ッ、あああッ！はあんッ！」



『ほらほらあ！もうこんなにヌルヌルにしちゃってえ...！見てみなさいよ、先っぽから溢れてるこのねばねばのお汁はなあに？』
「んああッ！先っぽ乱暴にしちゃ...ッ！あひっ、らめえッ！あっ、あ

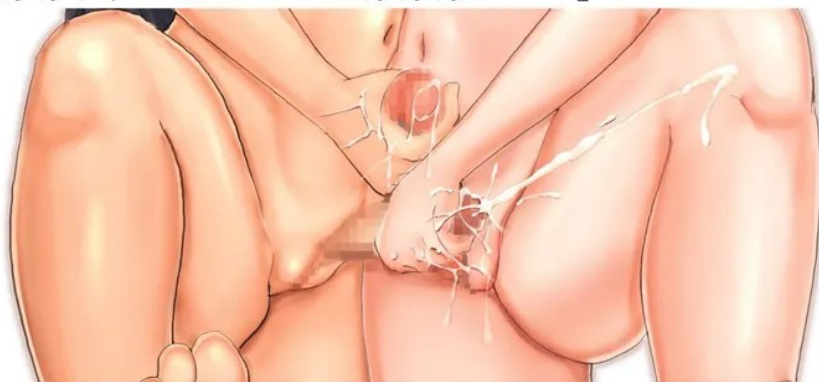
あッ！ツンツンだめ...ッ！やめ...ッ、やめなさいいッ！」
『ん～？こうやって本気汁で先っぽちゅこちゅこされるの好きでしょ～？
ほらほら、ちゅこっ、シコシコシコお～！んふっ、悔しかったらやり返して
みなさいよお』
「あああッ！見てなさい、セレナあッ！あああッ、んっ、あんたも先っ
ぽ弱い知ってるんだから...ッ！くっ、あんたが私に屈服するのよ...
ッ！」



『んああッ！さっきまでヒンヒン鳴いてたっていうのに生意気ね...っ、
はあっ、あひっ、そんなに動かしちゃ...っ、んひいいッ！』
「ふふ、無様ね...。この戦いはもらったわ。勝って不躰なあんたを肉奴隷
にしてやるんだからっ！ほら、気持ちいいでしょ？認めなさいよ」
『くうう～っ、気持ちよくなんかっ、んああッ！ひいんッ！私があんたを
肉奴隷にするんだから...っ、あんたなんかにィ、負けないんだか
らあッ！』
「んああッ！！？ちょ、いきなりそんな...っ、だめ...ッ、あああッ！ん
ああ、あひっ、やめなさい...っ、ううッ！」
『おっぱいコスリつけられるの、気持ちいいでしょう？むにむにい、ふわ
ふわあ、って私の巨乳に可愛いピンクの乳首が埋もれてるわよお？』
「ああ...ッ、ん...っ、あああ...ッ！そっちこそ...、私の乳首と乳首がコス
れて...っ、気持ちいいんじゃないのお？んああッ」

『んひッ!?ずるいわよ...ッ、ああんっ、乳首コリコリしちゃだめえ...
ッ!ああ...っ、あんたが乳首ビンビンに勃起させてるせいでえっ、刺激
があッ!』

「は、はあ?!そんなことないわよっ!あんたの方がビンッビンじゃない
のっ!ああッ、んひいっ!んあああっ?!」



「ッそんなっ?!んふッ」

『隙ありいッ!』

「きゃあああっ?!」



『ふふ、あのレイラ様が背中をいとも簡単にとられるなあんで、気持ちよすぎて油断しちゃったんじゃないかしら？』

「ふうう...っ！あひっ、そ、そんなわけ...っ！あ、あんたがあまりにも張り合いがないからチャンスを与えてあげてるだけよ...っ！あッ、やめ...ッ！」

『余裕こいてられるのも今のうちよお？ほらほらあ、よそ見してるとどんどん締まってきちゃうわよお？』



「ぐうっ、いぎい...ッ！いい加減に...ッ、くうんッ！セレナあ...ッ！ぐううッ、放せ...ッ！」

『足バタつかせて“放せー”だなんて、可愛いわねえ？ふふっ、離してなんかやらないけどねっ！はははッ！』

「んぐぐッ！ああッ！調子に乗りやがってえ...ッ！あああ”ッ！」

『必死になっちゃってえ...。ふふっ、首だけじゃ足りないでしょ？だからあ、もおっと痛めつけてあ・げ・る♡くすっ、踵がお腹に食い込んで苦しいでしょ？』



「いぎぎぎッ！ ああ...ッ！ うううッ！ 放...ッせええ...ッッ！！」
『あらあらあ、威勢だけはよろしくて？ ふふ、でもお、こんなにきつうく
締められちゃったらあ、動けないでしょ？ ほらほら早く降参して私の肉奴
隷になりなさい』
「うぐぐッ！ あんたの肉奴隷になるのだけは絶対にごめんだ...ッ！ んぐ
ぐッ」



『ん～、なかなかしぶといわねえ。じゃあ、これならどうかしらあ？ふふっ、レイラ様の淫乱おちんぽ、シコシコお、シコシコお♡』

「んあああッ?!...ツんひゃっ!や、やめろッ!あああッ!セレナあ...ツ、ああッ!」

『あらあ?今度は甘ったるい声になっちゃってるわよ?普段は威勢よく吠えてるはずのレイラ様がどこに行っちゃったのかしらあ?ふふっ』

「やあんッ!ああ...ツ、うるさいッ!んぐっ、ちょっ、胸、触るなあッ!あああッ!やああッ!そこは...ツ、あああッ!」



『んふ、シコシコされながらおっぱい揉まれるの、好きなのお?馬鹿にしてた女に足でシコシコされてるのに感じちゃってるレイラちゃん可愛い～』

「可愛いとか...、言うなあ!私は...、負け知らずと名高きレイラ様だぞ...ッ!くうんッ!あああッ!」

『んふふ～、こんなにおちんちんおっ勃ててるのにまだそんなこと言えるのねえ。まあ、私の相手をするならこれくらいじゃないとね、ふふっ』



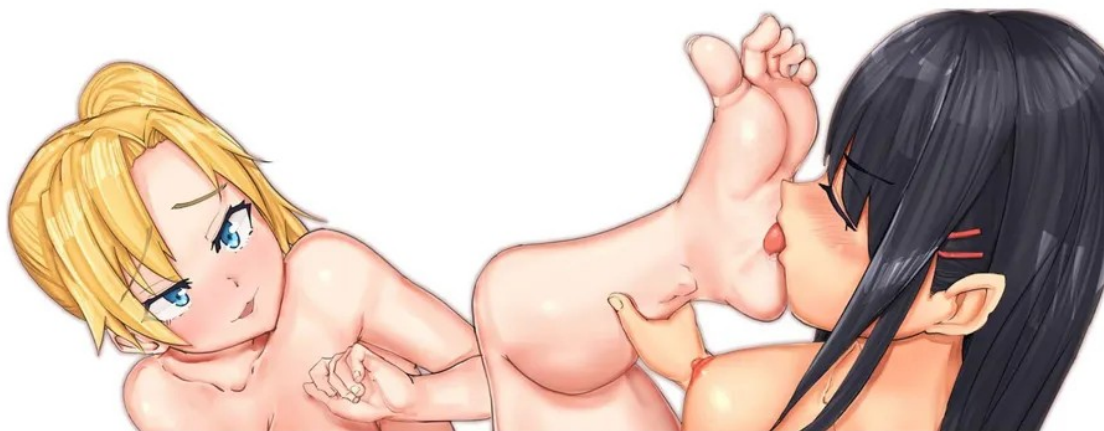
「くっそおお〜ッ！んあああッ、こんな女に...っ、負けない...ッ！
あああッ！ひやああッ！」
『ふふっ、さっきまでしょんぼりしてた乳首もお、んふ、ぷっくり腫れて
きちゃってるわねえ。つんつんしたらだめになっちゃうかなあ？』
「んああああッ！らめええッ！で、出るうううんぐッ！」



「はあはあ...ッ、んふあ...」
『あははッ！凄い噴水～！レイラちゃんのおちんちんはもうセレナ様の足の匂いマーキングで奴隷宣言しちゃったかなあ～？』
「...ッ、くうう～ッ！こうなったらああッ！」
『んぐアあ?!』



『ちょっ！んぐうッ！レイラッ?!...、やめ...ッ、く、くすぐるのはナシでしょ...ッッ！ひやははははッ』
「ほらほらあッ！もっと喚きなさいっ！ふふッ！食らえ！」
『い...、いひひひッ！あひやひやひや～ッ！ちょ、んあああ～ッ！』
「ギブアップ？」
『あひやッ！バ、バッカじゃないのお?!あんたルール解って...、ひやはははッ』
「まあ、そうよねえ～」
『はあっ、はあっ、はあっ。笑い死ぬかと思ったわ...』
「あらあ、こんなに無防備に足を差し出しちゃっていいのかなあ?ん、れろおっ」



『ひゃッ、あひッ?! ちょっと、足の裏は...ッ! き、汚いからああッ! あひゃひゃひゃッ!』

「私が綺麗にしてあげる。あんたのきったない足、隅から隅までぜえんぶぺろぺろしてやるからね、あははっ」

『んひひッ! 指の間はらめ...ッあひゃひゃひゃッ! んひひひッ! レイラあ...ッ! んひやははははッ!』

「あんたがこんなにくすぐりに弱いなんて知らなかったよ。ん、れろおっ、んちゅう、ちゆるるるッ! どこが一番弱いのかなあ? んちゅう〜」

『ひゃひいいッ! くひひひひひッ! んああ...ッ、も、もうやめ...ッ! んぐぐ〜ッ!』



「あはは! 下のお口でよく味わいなさいっ! ご主人様のソーセージだわ〜♡」

『くッ! 誰があ...ッ、んああッ?!』

「ふふっ、おちんちんもシコシコしてあげまちょうねえ? ん、れ

ろおおッ！んっ、ほおらチコチコおチコチコお。あははッ、ビクビクして
まちゆよお？」



『ひゃああんッ！んああ...、あうううッ！ば、馬鹿にしないで...ッ！ん
やああッ、くひいいッ！』

「あれえ？もしかしておちんちん扱かれたら、足ぺろぺろも気持ちよくな
なっちゃった？下のお口がヨダレ垂らしてソーセージ舐めまわしてる
よお？んふふ」

『んひゃああッ！負けない...ッ、私は負けないんだからあああんッ！』

「ふふ、そんなに暴れてもムダムダあ♡逃がしてなんかあげないんだか
ら。んふうー、んふうー、全くクサイ足ね、さっき匂いマーキングされた
ご主人ちんぽでえ、この雌犬まんこにお返しザーメンマーキングしてあげ
る～、んちゅう」

『ちょっ...ッ、やめッ、うああッ?!』

「出すわよ？あんたも射精しなさい。あむ...この足裏最高お～、ぢゆるる
るッ！」

『んがああッ！イクッ！イクううう?!やあああああッ～！』



「ふー...」

『んは...はああ...はああ...』

「あんたもなかなか良い筋だけど、これで——」

『いい加減に...いッ！しなさいッ！！』



「ぐえええッ！」



『ふん！油断してたわね？ふふっ、さあセレナ様のターンよッ！私のマシュマロおっぱいに陥落しちゃいなさいッ！』

「んやあ…っ、だめ…、出したばかりで…？！もふもふおっぱいにおちんぽ包まれてえ…！んあうッ！ああ…ッ、らめえええッ！」

『気持ちいいでしょ～？ぱふぱふうっておっぱい揺らされたらあ、挟まれた淫乱おちんちんなんてすうぐ降参しちゃうんじゃない？』

「んやああッ！あひっ、あふううッ！こんな、だらしのないおっぱいになんか…ッ、負けないッ！負けないんだからああッ！」

『そんなこと言っても、身体は正直ねえ。おちんちんはどんどん硬くなってきてるわよ？んしょっ、おっぱいに埋もれてえ、んしょ、ぱふぱふ～レロお～』



「ひゃあああ〜ッ！ああ...ッ、しゅご...ッ、しゅごい...ッ！うう、だめえ...、こんなの気持ちよくなんて...ッ！」

『顔真っ赤じゃなあい、ふふ、気持ちいいって認めたら、このおっきなおっぱいでえ、ずうっとぱふぱふしてあげるわよお？私の谷間でいっぱいかせてあげる♡』

「ああ...、いっぱいぴゅっぴゅしたい...っ、ああああッ！でもだめえっ、ううっ、私はあんたに勝ってやるんだからッ！」

『んふっ...、なかなかしぶといわね...っ、もうそろそろギブアップしちゃってよ...ん〜、こうなったらっ、あ〜むじゆるううれお〜』

「はあっ、くッ！ひゃあっ？！裏筋はらめええええええッ！！」



『アハ！ほおら出たあッ♡』
「んんひうらッ?!はあっ、はあ...」



『顔にいっぱい～！ふふっ、レイラちゃんの早漏ちんちんはだらしがないね、これで4発目？こんなんでよく先輩風を吹かせられたものねえ～』

「ッ！セレナあ...！」

『逃がさないわ』

「へ...？ちよっ?!」



『んぶっ、レロお！...ッあはッ！かわいいおちんちん、私の口に入っちゃったわねえ、んっ』

「ひゃああああッ！！セレナああッ！やめ...ッ、ちょっ、あああッ」

『私のフェラテクには敵わないんじゃないかしらあ？んぐ、レロレロ、ぢゆるるッ！ふふ、んぢゆるるるッ！んふ、もうどっろどろじゃなあい、さっきのパイズリがそんなによかったかしら？』

「んひゃああッ！う、うるさいッ！そんなわけ...ッ、ないッ！んああッ、吸うなああッ！あひッ、くひいいいッ！」

『ん～？レイラってばおちんちん吸われるのがイイのかしらあ。んっ、ぢゆるるるッ！あは、下品な音お♡こういうのがイイんだあッ』

「やめっ、やめろッ！んひううッ、やだあッ、もう...、離してええッ...！んあああッ！ああんッ！」



『腰が引けちゃって可愛い♡んふ、ヒクヒクして切なそうにしてるコッチも触ってあげるわね？んふふ、逃がさないんだからっ』

「ひゃああッ？！んぎいッ！ずぼずぼするのだめッ！おまんこ...ッ、おまんこは...ッ、だめなのおおッ！んやああッ」

『あははっ、すごい暴れてるっ！でも気持ちよくて腰が動いちゃってるわよお？ふふ、ずぼずぼされるの気持ちいいでしょ～？』

「ひゃああ...、き、気持ちいい...っ、んうう...。しゅごい...っ、こんなの...、だめ...っ」

『んふふ、もう堕ちちゃうのかしらあ？あのレイラ様も大したことなかったわねえっ！あはははッ！んぢゆるるるッ！』

「やああ...、しゅごッ吸われ...っ、ンんぎいいいアあああ！！」



「はあはあ、んはッ...」
『んぐ...、ちゅぱ...、んふふ♡これよこれッ！いつも偉そうなレイラがこのセレナ様のお口の中で盛大に果ててアへ顔晒すのが観たかったのお！』
「ッ！ちょ、調子に乗りやがって～ッ！！」



『ひやあああッ?!』



「そおんなに私のちんぽをしゃぶりたいなら、ほらッ！！」
『んおおおッ?!んぐぐッ、んっ、んん〜っ!』
「ほらほら、さっきまであんたが美味しそうにしゃぶってたデカチンよ?
んっ、もっと奥まで啜えなさいッ!」
『んぶぶっ、んっ、んおおッ、んうう...ッ!んぶ〜ッ!』
「んー?そんな嫌そうな顔しないでって!ほら、喉奥までズンズン!
んっ、ふふっ!セレナの生意気なおくち、私の勃起おちんぽで情けなく犯
されちゃってるね?あははッ!」
『んぐっ?!...ああっ、んおおッ!んぐっ!ぐえッ!』
「ほおら、もっと唾液で濡らして気持ちよくしてよ!ねっとり丁寧にチン
カスもお掃除してよ〜?んっ、はあっ」
『ぐううッ!ゲホッ!...ツんんッ!ぐええッ!くさい...っ、くさい
よおッ!』
「文句言わないの!はあっ、はあっ、もっと喉締められるでしょ〜?
んっ、さっきの自信満々のフェラテクはどこにいったかな〜?」
『んぐぐぐッ!レイ、ラあ...ッ、うぐッ、おえ...ッ!ううう...ッ!』



「あは～、苦しそお～♡ふふっ、降参しちゃう？ほらほら、早く降参しないともおっと苦しいよお？しちゃえっ、降参しちゃえッ！」
『んぐぐぐッ！おええッ！ぐうッ、降参なんて...ッ、してたまるもんですか...ッ！うぐッ』
「あははッ！しぶと～いッ！んっ、ああんッ、ズンズンッて気持ちいいッ！セレナのおくちまんこ気持ちいいッ！」
『げほげほッ！んぐぐッ、こんなのっ、屈辱...ッ！ううううッ！！』
「もっと奥までいけるでしょ？んふっ、せき込んじやってえ！んっ、苦しいよねえ？」
『んぐぐぐッ！んおッ、ううう～ッ！げほっげほっ！くっ、こんなので挫けるわけない...ッ！私は負けない...ッ！！』
「だったら精液で溺れなさいッ！！」



『んおおおおううッ?!』
「ンッ、もっとよお! 飲めえ!」
『んぐぐッ! うおおんう?! げほっげほっ...ッ!!』
「ふー...んしょ」



『げほっ！うえええおおゲロ～\$*&@!』
「全く失礼ね、ちゃんと飲み込まないとダメじゃない。これから躡けてやるから覚悟なさい」
『げほげほっ！はあっはあっ、ふ、ふざけ...ないでよお！んぐ、はあ、なによこの量?!はあ、そんなで、んぐ、勝ったつもりひゃあ?!?!』

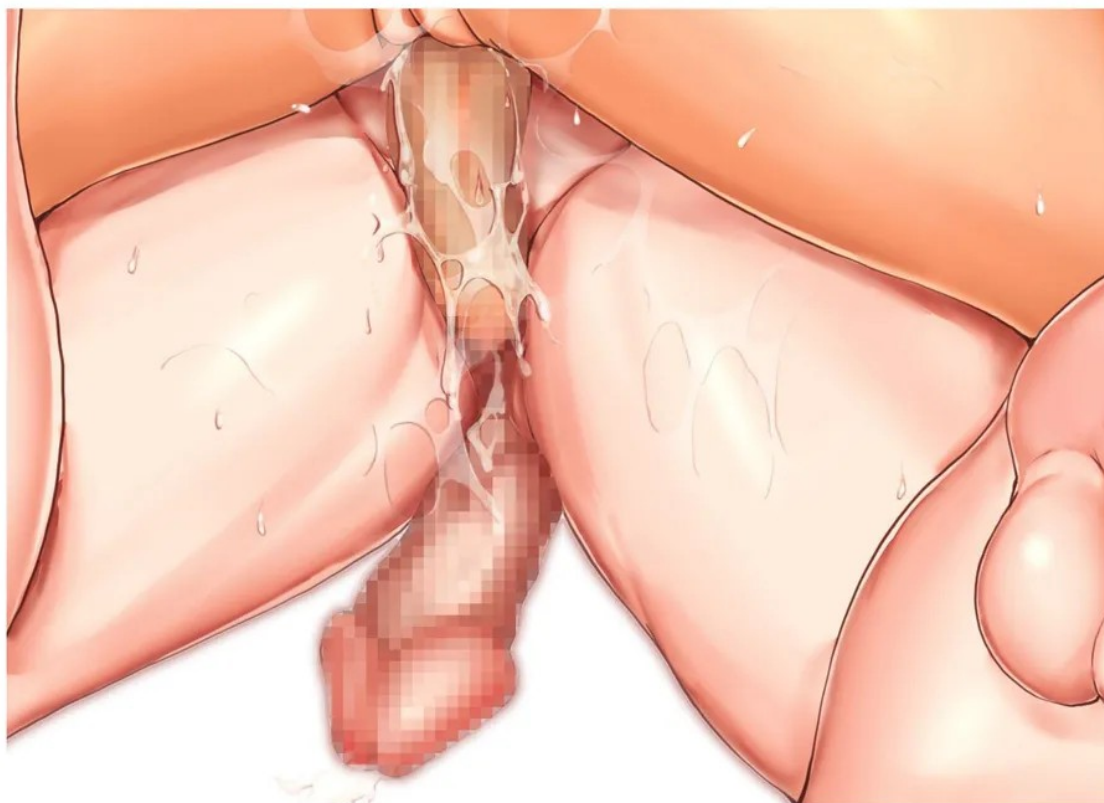


「も～、しぶといんだからあ♡んふっ、今度はセレナも気持ちよくしてあげるからね？」

『ちよっ、やめ...っ、そこは...ッ、あああああッ！！』

「うふふ、暴れてもムダ♡レイラ様のおちんぽに溺れちゃいなさいっ！ずぷずぷ～ッ」

『ひゃうううッ！...ッああッ！またおまんこ...っ、さっきより深ッ？！ダメなのおおッ！んおおッ、ハメハメしちゃだめええッ！』



「んおッ♡ああんっ、セレナってばイイおまんこしてるじゃない♡きゅうきゅう締め付けて、うっ、これすごいッ！ああッ！」

『ひゃああッ、サカるなあッ！んっ、んああッ！やだッ、そんなにつ、動いたらあ...ッ、ああッ、おまんこ千切れちゃうわよおっ！んぎいいッ！』

「はあっ、はあっ、セレナのおまんこ...っ、んううっ、ふわふわであったかくて...、ああんッ、クセになっちゃうかもお...っ！」

『んああッ、う、うるさい...ッ！動かさないでえ...ッ！デカチン...っ、奥に当たってえ...ッ、あうううッ！しゅご...い...ッ！！あひいいッ！』

「ぐりぐりするのも...ッ、んううッ、イイッ！んおおッ、ふわふわおまんこに包まれてえ...っ、ああッ、セレナあッ、セレナああッ！」

『ああッ、ああんッ！はあっ、はあっ、んぐっ、レイラっ、動かしすぎ...ッ！そんな...ッ、奥まで...ッ、ああッ、来ないでよおおッ！』

「はあっ、はあっ、身体をもぞもぞとうねらせてっ、んっ、それが抵抗のつもりかしら...ッ？ああッ、あははっ、可愛いわねえ...っ」

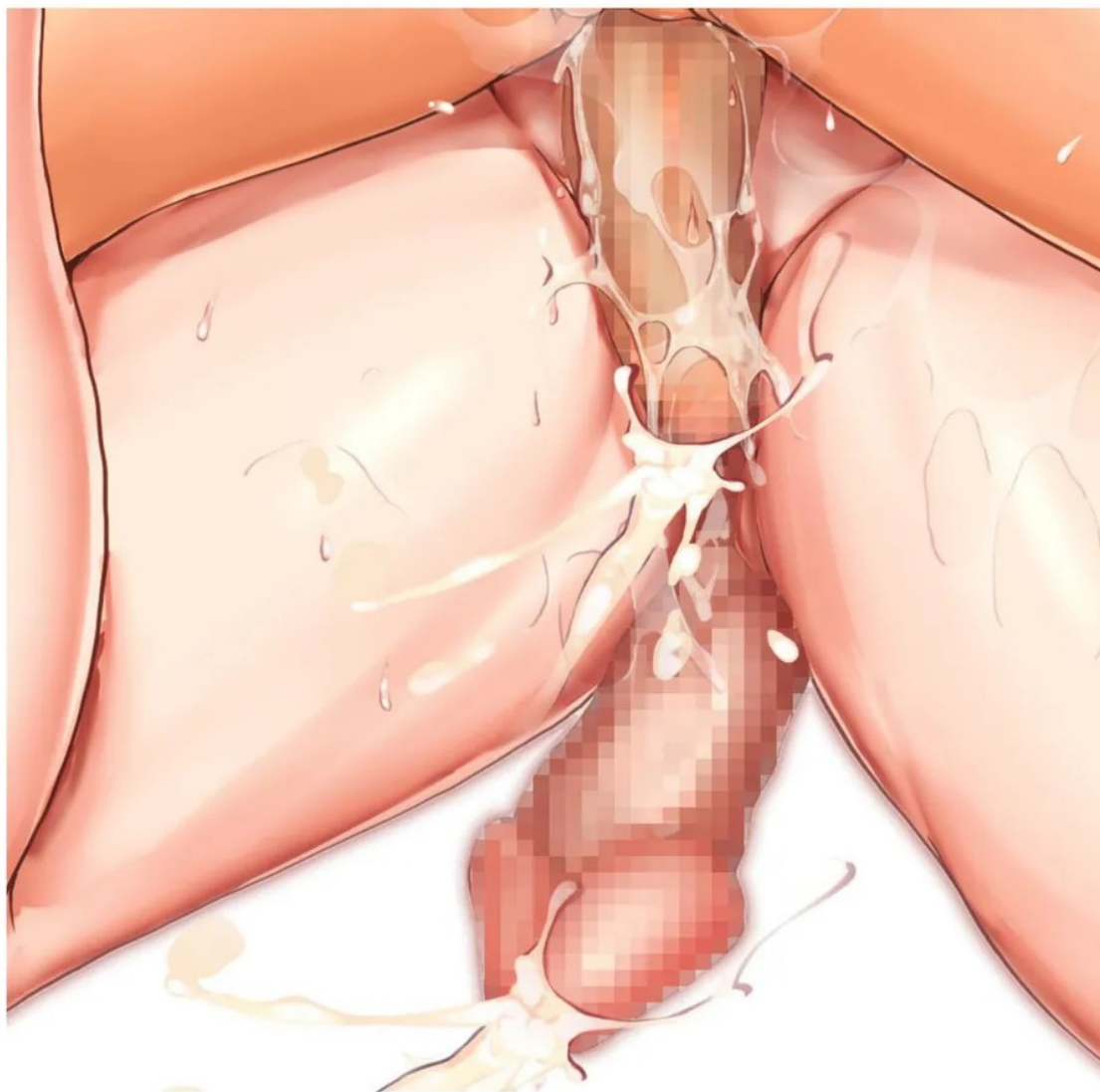


『ひうっ、もうやだああ...ッ、いっちゃう...ッ、こんなのいっちゃうからああッ！おちんぽでイクイクしちゃう...っ、ひっ、ああああッ！』

「あははッ、イケッ！私のガチガチおちんぽに...ッ、んうっ、屈服しちゃうッ！ああッ、イケッ！ああ、すごい...ッ、おまんこきゅうきゅうして...ッ、ああああッ」

『私だけイカされるなんて...ッ、あひいッ！ゆ、許さないんだからああッ！ああッ、イクッ！だめだめ...ッ、ああッ、気持ちいいの来ちゃうううッ！』

「締め付け...っ、やば...ッ！んおおおッ！これ...、だめええッ！」



『あああああッ！』

「あああああッ！」



『んおお...っ、んお...ッ、うう...っ、はふ...ッ！びゆるびゆる...、ナカに
でてる...ううッ、あつついの...ッ、いっぱい...ッ！しゅご...っ、あああ...
』

「セレナのおまんこ...っ、しゅごい...っ、ぎゅううって搾り取られる...
っ、はあっ、はあっ、ああ...ッ、あふうッ」

『はあっ、はあっ、はあっ。あひ...っ、ふうう...、ふうう...』

「セレナ...っ、ギブアップう？んあは...」

『はあっ、の...ノーッ！』

「そうお...」

『ひやああ?!』



「ふふ、見直したわ。でもこんなもんじゃ許さないよ？ほら、今度は私がパイズリしてあげるね、ふふッ」

『ちょ、この格好は...、やだ...ッ、離せ...ッ、離しなさいよおおッ！』

「あははッ、情けないよ！それにさっきいったばかりだから力が入らないでしょ？ふふっ、無様な格好のまま、また私にイカされちゃいなさいッ！」

『あああッ、やめ...ッ、離しなさいッ！レイラ...ッ、いい加減に...ッ、あああッ！』



「ふふ、私のおっぱいもモチモチで気持ちいいでしょ？私のはあんたのより弾力があるから...っ、んしょっ、イイんじゃない？ふふっ」
『ちょっと...っ、あんたのちんちん...っ、私のお尻に擦り付けてるんじゃないわよ...ッ！あぁっ、汚いのこすりつけないで...ッ！うううッ！』
「ええ～？あんただけ気持ちいいのはずるいんじゃない？んっ、意外とイケツしてるねッ、あぁっ、んっ！あはは、あんたのちんぽも、さっき出したばっかなのに、んっ、もうこんなになってる...っ、くすっ」



『あ、あんたのちんぽもギンギンに勃起してるじゃないッ！ううっ、私ばかり馬鹿にしてんじゃないわよおッ！ああッ！』

「あははっ、情けなあい格好でえ、こんな風に啼かされてえ？滑稽ね～ッ、ふふっ、じたばた抵抗しちゃって、可愛い～」

『んん～ッ、ぱふぱふしちやだめええ...ッ、ううッ、気持ちよくなっちゃう...っ！ああッ、だめええッ！』

「もうっ、そんなに暴れたら...ッ、おちんちん擦れて...ッ、ああッ、はううんッ！」

『やだあ...ッ、このままじゃ...ッ、うう...っ、反撃しないとお...、でも欲しい...ッ！ああッ』

「可愛いこと言ってくれるじゃないッ！そんなこと言われたら...ッ、止まらなくなっちゃうじゃない...ッ！レロお～」

『だダメええッ～！』



「あはッ！」

『んぐううッ！』



「んふ、ちゆるる、んひう...」
『はあ、はあ、んはあ、ちょっとお、今私のお尻にぶっかけたねえッ?!』
「あらバレたあ？」
『もうッ！今度は私んぎゃあッ?!』



「残念～、トドメよ」

『ひゃあああッ?!...ああッ!またああ...ッ、おっきいの来たあッ!
ああッ、しゅごい...ッ、しゅごいよおおッ!』

「ああもう!気持ちよさそうにしちゃって!...ッ、くうッ、締め付けが...
っ、やばッ、ああッ!セレナ...っ、あああッ!」

『やば...ッ!レイラのおちんぽ...ッ、おっきいのきてるううッ!ああッ、
んううッ!』

「んおおッ、はあっ、セレナってば、下品に腰動かしちゃって...ッ、
はあっ、あああッ!そんなに私のおちんちんが欲しいのッ?んっ、エッチ
な子ね...ッ!」

『ああ...ッ、このお...ッ、レイラあ...ッ!あああッ!逃げないと...ッ、ん
ぎゃアア!足...ッ、キツいいッ!』

「無駄よ...ッ、ホールドは完璧ッ!んっ、ああ...ッ、締め付けが...、キツ
くなって...ッ!あああ...ッ!」

『ああ...ッ、おかしくなっちゃう...ッ!レイラのおちんぽでえ...ッ、奥ま
でグリグリされてるよおおッ!深...ッいいッ!そんなに奥まで入れちゃ...
ッ、あああああッ!』

「あはッ!きゅうきゅう締め付けてるッ!んっ、ココがいいんだ?

ああッ、もっとしてあげる...ッ、ほら...ッ！グリグリッ、ゴリゴリッ！」
『ああああッ！だめだめえ...ッ！おかしく...ッ、なりゅうッ！なにも考えられない...ッ、ひゃうッ！おちんぼのことしか考えられないバカになっちゃうッ！』
「あああ...ッ！んおッ、すごい...ッ、セレナのおまんこお...ッ、おちんちんにぴっちりくっついてえ...ッ！ああッ、しゅごい...ッ、こんなの...ッ、知らないよおおッ！」



『イク...ッ！いっちゃうッ！おまんこでメスイキしちゃう...ッ！
ああッ、そんなのだめ...ッ！やだやだ...ッ、イカされちゃう...ッ！イキたくないのにいいッ！』
「ああッ、セレナ可愛いッ！いっちゃえ...ッ！おまんこにザー汁ブチこまれていっちゃえッ！中出しされて気持ちよくなっちゃえッ！」
『んおおッ！ああッ、激しいよおおッ！もうやめてえ...ッ！イクッ、いっちゃうからああッ！』
「ほらほらッ、メスになっちゃえッ！イケッ！んあぁっ、んおッ、イク！イクうッ！」
『ああああッ！』
「ああああッ！」

『はあっ、はあっ、はあっ…。んっ、ううう、レイラ…ッ、出しすぎ…
ッ、うう…ッ』

「ああ…っ、んおお…ッ！すごい出てる…ッ、あああ…っ、すごい…ッ」

『はあっ、はあっ、注ぎ込まれちゃってる…っ、あああッ』

「はあっ、はあっ、気持ちよかった…っ、はあっ、こんなに出しちゃった
んだあ…、はあっ、セレナのナカからどぶどぶ溢れてきてる…んふふ、こ
れでセレナは私の肉奴隷ね！何からしましょう？あ～あ楽しみ」

『はあっ、んぐう、今だあッ！』

「へ？」



『ひむッ！』

「んおああ？！」



『もらったッ！』
「うがッ！」
『ふんッ、レイラあ、腰に力が入らないでしょ』
「そんなッ、あんたまだ?!」
『うかつに射精しまくったからよ！ちょっとヤバかったけど、受けきった私の勝ちい！』
「ちょっ、まさか...ッ！お、おい...っ、んおおおおッ！」
『はふうう〜ッ、しゅごいい〜っ！はあっ、はあっ、レイラの中に入っていくうう〜ッ！んおおおッ、はふうっ、はふうっ！』
「ちんぽすごい...ッ！ん...ッ、んあああッ！はふっ、はひいいッ！セレナのなんて...ッ、熱い...ッ！ああ...ッ！」
『はううッ、私の...ッ、おちんちん欲しいよね...ッ！はあっ、あひいいッ！今まで温存した分ッ！一気に犯してやるッ！はあっ、はあっ、もっとおおッ！』



「うう...ッ！あんた重たいッ！うぐう、んっ、そんなに脚ひらかせないでッ！ああ...ッ、硬いおちんちんがおまんこに...ッ、はあっ、んおおッ！」

『ちよっ、ちよっとお、そんなに締め付けちゃだめええ...ッ！ああ...ッ！奥まで...っ、ぶっ刺してやるん...ッ、だからああッ！！ひやああッ！』

「セレナあッ！...ッんああッ！そんなこと言いながらおちんちんビクンビクンってえ...！なってるの...っ、んんッ、もう限界じゃないッ！んんッ、はううッ！まったく、淫乱なんだからあッ！」

『んうッ！そ、そっちだっってえ...っ、おまんこ、私のちんぽに絡み付いてきてるくせにいいッ！私のおちんぽ気持ちよくてたまらないんでしょッ？ああッ！』

「は、はあ？私のおまんこにメロメロになっているのはセレナの方じゃないッ！ふううっ、ああッ！正直になりなさいよッ」

『あああ...ッ！下でひんひん喘いでるだけのくせに生意気ね...ッ！んっ、こうなったら...ッ！...ひやうううッ！』

「あああああッ！！んあああッ！しゅ、しゅごいいい～ッ！ああッ、中で乱暴に動いてりゅううッ！あふうっ、セレナのスケベちんぽに犯されてえ...ッ、もうだめええッ！」

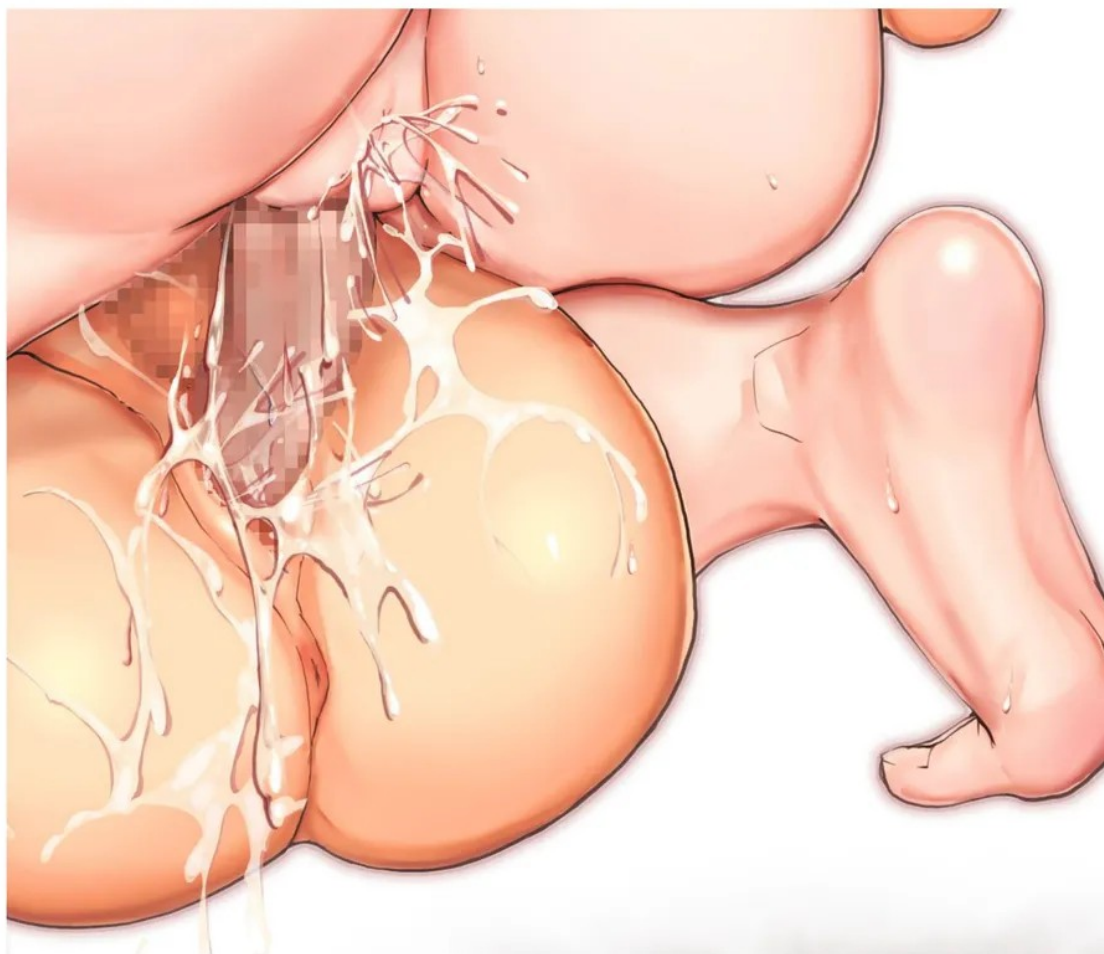
『あひいいッ！これしゅごいいいいッ！お尻押し付けて揺さぶるのしゅごしゅぎるううッ！んんッ、はあっ、レイナあ...ッ、さっさと降参しなさいッ！』

「あああッ、降参...っ、するもんかあ...ッ！あんたが先に降参するの

よッ！あひっ！肉奴隷になるのはあんたよッ！あああッ！」
『あああッ！精液のぼってきちゃう...ッ！ナカでメスイキさせられながらッ、ああッ、おちんちんもびゅーびゅーしちゃえッ！レイナッ！』



「あひいいッ！出ちゃうッ！また濃いのでちゃうッ！あああッ！まんこもイカされちゃうッ！！ひやあああッ！」
『きちゃうッ、もうだめッ、しゅごいの来るッ！イ、イクううッッ！』
「あああああッ！！」
『あああああッ！！』



「んッ、あひッ！はあっ、はあっ、はあっ、す、すごかったあ...ッ」
『んおお...ッ、はあっ、はあっ、あひ...ッ！中出し一本取ったあ...♡』
「はあっ、はあっ、はあっ、セレナのちんぽ、そんなに強いなんて...っ、
はあっ」
『はあっ、こんなんでも...、ギブしないよね？ふふっ、ほら、決着つける
よ？んンッ』



「待つてッ、まだ回復...ッ、んんうッ！入って...ッ、くる...ッ！！おっきいのが、乱暴に...ッ、ナカこじ開けてきてるううッ！ああああッ！」

『レイラにいっぱい種付けしたあい！あははッ、マーキングしてあげるわよッ、はあッ、はあッ、ああッ！ずぷずぷ入ってく...ッ、おまんこのナカ、すごい熱いよおッ！』

「ああ...、エッチな音ぬふぬふ言ってる...ッ！あひッ、セレナあなんかに犯されてる...ッ、ううッ、はううッ！」

『ふふッ、愛液たあっぷり垂れ流しちゃって恥ずかしいわねえ？んッ、そんなに私のおちんぽにハメハメされるのが気持ちいいかしらあ？あははッ、もっと犯してあげるわ...ッ！』

「あひいいいッ！！だめッ、突き上げてこないでええッ！んぐッ、上側にこすれて...ッ、そこは...ッ、ああああッ！」

『あはッ、勃起しまくってるんじゃないのお？んふふ、すごいビンビン♡バッキバキに血管浮いてておもしろおいッ！犯されて興奮しちゃってるのね？』

「う、うるさいッ！セレナだってさっきまで犯されて勃起させてたくせにいッ！ああッ、ちょっとシコシコしちゃだめええッ！」



『ちゆるる...♡ココをコスコスされるのが好きなのね？ふふッ、可愛いくらい反応してるわよ？んっ、扱かれながらナカぎゅうぎゅうに締め付けてる...ッ、ああッ！』

「入れられながらあ...ッ、んぐっ、シコシコされるのしゅごい...ッ！腰、勝手に動いちゃうよおお...♡んああッ！」



『レイラったら腰へこへこ動かしちゃってる〜ッ！情けなあい♡ふふっ、もっとパンパンしましょうねえ〜、んおおッ！』

「やだやだやだあ...ッ！激ししゆぎりゆうッ！ああッ、気持ちいいよおお...ッ！だめ...ッ、ああッ！おかしく...ッ、なっちゃううッ！」

『おかしくなっちゃえッ！そして私の肉奴隷になるのよッ！んんっ、あひッ！想像しただけでおちんちん硬くなっちゃうう...ッ！』

「肉奴隷なんかに...ッ、あひっ！なるもんですかあッ！ああッ！んおおおッ！」

『ほらほらあッ、気持ちいいんでしょ？ああッ、降参しちゃえッ！

はあっ、はあっ』

「はあっ、はあっ、なに言ってんのよ...っ、おちんちんビクビクさせちゃって、ああッ、そっちこそ限界なんじゃないのっ？はあっ、はあっ」

『そ、そんなわけ...ッ、ああッ！だめ...ッ、ふわふわおまんこしゅごいいい...ッ！おちんちん幸せになっちゃう...うッ！』

「ああッ！セレナだめッ！サカリすぎッ！んんッ、そんなに激しく入れられたら...ああッ！」



『あああああッ！』

「あああああッ！」

『はあっ、はあっ、はあっ、はひ...ッ、しゅごいい...ッ』

「はあっ、はあっ.....」

『はひ...ッ、レイナあ...、ギブアップ...ッ？』

「はあっ...はあっ.....」

『んふ...、やったあ...、レイナ先輩を...、屈服させちゃった...ッ♡』



「はあっ、はあっ、ふふッ、隙ありいッ」
『ちよっ、レイラ...ッ?!』



「あははッ！もうへバっちゃったのかなあ？ふふっ、まだまだいけるよね？」

『待つてッ、今は...ッ！！あああああッ！』

「ふふふッ！こっちはまだ使ってないもんね？んぐっ、キツつい」

『お尻...ッ？！んぐぐぐッ！痛い...ッ、痛いわッ！抜いてえッ、お尻はだめなのッ！うううッ、ごめんなさい...ッ！許してッ！』

「キツすぎて全然入らないね～？でもお...、んッ！無理やり犯してあげるッ！んおおッ」

『ひぎいいッ！！待つてッ、待つてッ！痛い...ッ、痛いからああッ！助けて...ッ、もう...ッ、やだあああッ！』

「あーあ、さっきまでセレナのおちんぽ、あんなに勃起してたのにちっちゃくなっちゃったねえ？ふふっ、抜いてあげるっ」

『いぎいいッ！ああッ！痛いのと気持ちいいのが...っ、いっぱい...ッ！わかんない...ッうううッ！やだやだあッ、許してええッ！』

「あはッ、もう硬くなってきたよ？そんなに私のおてて気持ちいいの？あはッ、アナルも広がってきたあ♡これでもっと奥まで...ッ、んしょッ、入るねッ」

『んおおおおッ！だめだめええッ！ごめんなさいッ、ごめんなさ

『いいッ！許してッ、ああッ！許してくだしゃいいッ』

「ふふ、だあめ♡許してあげないッ、あははッ、そろそろアナル気持ちよくなってきたんじゃない？」

『そんなわけないわよッ！うぐぐッ！早く抜いてえッ！おまんこならいくらでも使っていいからああッ！アナルは...ッ、アナルはだめなのおおッ！』

「ん～？そういう割にはおちんぽの先、ふふっ、ヌルヌルになってきてるよ？あはッ、それにおまんこも愛液でべったべただし♡」

『違う...ッ、そんなの違う...ッ！この私が...ッ、お尻の穴を犯されて気持ちよくなってるなんて...ッ、そんなの...ッ！ああああッ！』

「あははッ、ココがイイんだ？もっと苛めてあげるねッ、ほらほらッ、気持ちいいでしょ？んぐっ、はふッ」

『いぎいいッ！ああッ！だめ...ッ、だめええッ！気持ちいいのきちゃうッ！知らないのきちゃうッ！』

「ほらほら気持ちよくなっちゃえッ！」

『なんで...ッ、なんでこんなに気持ちいいのお...？はあッ、はあッ、ああああッ』

「ふふ、気持ちよくなってきちゃった？...それじゃあ...」

『やだ...ッ、えっ、嘘...ッ、なんで止めるの...ッ?!』

「ん～、セレナが肉奴隷になるって約束してくれたらイかせてあげる♡んっ、ほおら、気持ちよくなりたいたったらわかるよね？」

『そんな...ッ、そんなことできるわけ...ッ、あひやああッ！入り口ぬちゅぬちゅしちやいやああッ！ずるいッ、こんなのずるいよおおッ』

「おちんぽギンギンに勃起させられて、気持ちいいアナル放置されてつらいよね？ほらッ、言っつて？私はレイラ様の肉奴隷になりますって言えッ！」

『あひっ、あひいい...ッ、はあッ、はあッ、こんなの...っ、うううッ！』

「ほおらッ！」

『私は...ッ、レイラ様の肉奴隷になります...ッ!!』

「あははッ、よく言えました♡んんっ、じゃあイかせてあげるねッ」



『んあああああッ！あああッ、しゅごいッ！お尻しゅごいッ！！犯されるの気持ちいいッ、だめ...ッ、気持ちいいことしか考えられないっ！』

「ああ...ッ！セレナのアナル気持ちいいッ！イク...ッ、出るッ！セレナの淫乱アナルに中出しきめちゃう...ッ！！」

『あああああああ～ッ！』

「んおおおおッ！！」

『はあっ、はあっ、あひっ、ふひっ！』

「はあっ、はあっ、これであんたは私の肉奴隷よっ」

[し...ッ、試合終了う～！]

【んふう...ッ、やっぱレイラさんの勝ちだねッ】

[はあっ、はひっ、皆さんも大満足してますねっ]

【ふふっ、よそ見る余裕あんのお？】

[ひゃあ？！ま、負けませんよお♡]

* * * * *



「あははッ、似合ってるわよ」
『れろれろおッ、わんわんッ、はあッ、はあッ』
「じょうずねえ〜っ、あははッ、私の足舐めてるだけでもうおちんちん勃
起させちゃって、淫乱な奴隷ね」
『ちゅぷ...ッ、おちんちん...ッ、ください...ッ、ご主人様あ♡』

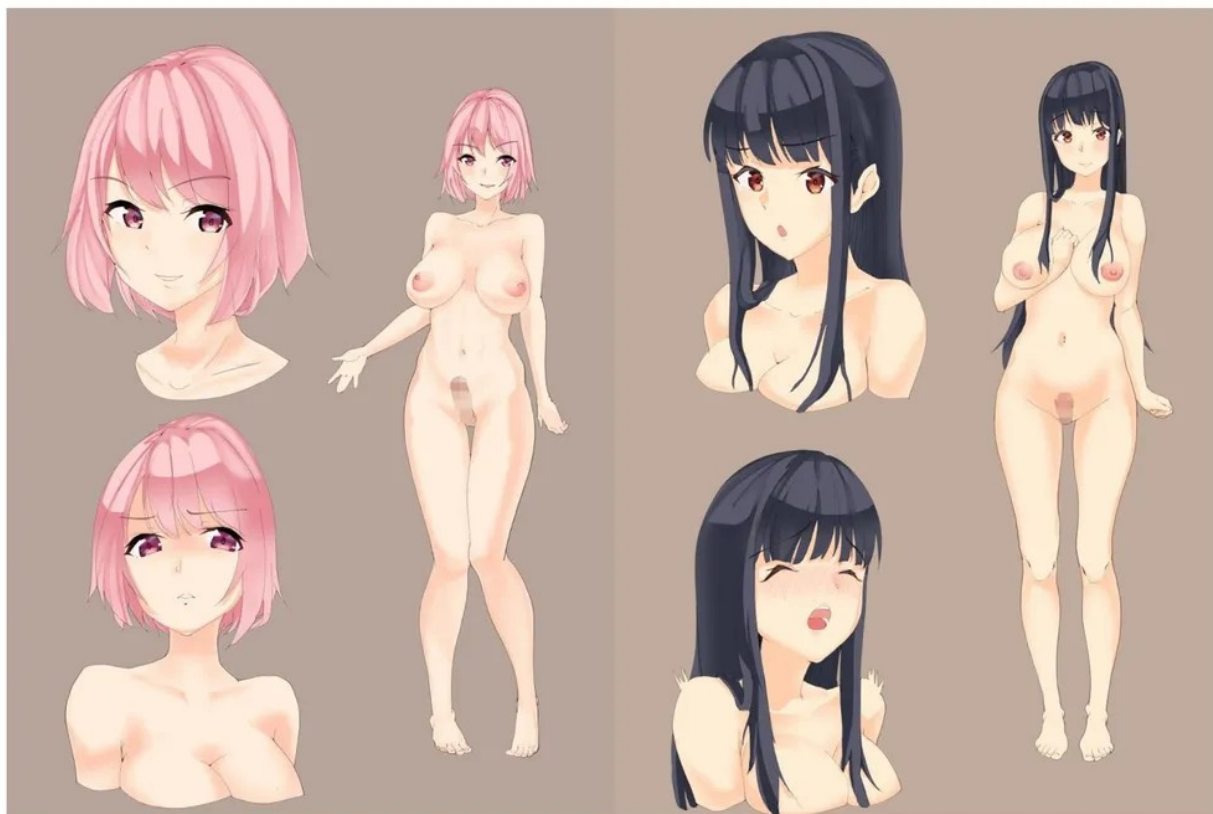
* * * * *

次回予告&あとがき

皆様初めまして、天上の百合園と申します。
今回友サークルの場を借りて、ふたなりバトル!!を頒布することになりました。
第一試合、いかがでしょうか？足裏フェチの描写には自信ありますがね。

さて、まずは次回の「ふたなりバトル!! ~2~」ですが、

今回の勝者であるレイラが新キャラと対戦です。



頒布時期は夏頃を予定しております。作品形式も今回と同じでCG小説にPNG原画集同梱となります。この形式は、エロゲ感覚を追求した上で、編集コストを軽減する目的があります。もしかしたらCG集形式で擬音もりもりの画像ファイルいっぱい構成が良い、というユーザーさんもいらっしゃるかと思いますが、実を言うと、そんな画像を編集し出力する時間的人的コストが高いのです、新作一本分くらいです。そんな形式上の完成度を捨て、当方はユーザーにとって一番価値あるもの、エロCGの原画と小説本編のみに力を投入することにしました。

そして、「ふたなりバトル!! ~2~」の発売時期を前後に、《天上の百合園VSふたなりバトル合体劇場版#1(仮)》を頒布予定です。

こちらは当方の主カタイトルとなります。作品形式は今回同様のCG小説に音声ドラマ、時に動画ドラマ、声優ラジオも同梱、という大型パックとなります。しかも早期購入価格を800円台に維持する予定です！

内容は、

- 1.ふたなりバトル
- 2.レズバトル（同じ試合ものだけど男性器無し、プロレス技多め）
- 3.18禁百合ラブコメディ（恋愛もの＝百合ゲー的な）
- 4.以上を繋ぐ世界観で展開するメインストーリー

こんな内容を描いた複数のエピソードの合体パックです。
最初はどうか繋がるか見えないかも知れませんが、徐々に増えてくる展開ですので
よろしくお願いします。
本格始動までまだかかりますが、最新情報は[pixiv](#)や[twitter](#)でお知らせしま
す。

最後に、天上の百合園関連YouTubeチャンネルを登録してくれると、声優
陣の支えになりますので何卒♡

[YouTubeチャンネルへ](#)

<https://www.youtube.com/channel/UCUUVcaPghUUokqccuzuZ9yA>

それでは夏頃にまたお会いしましょう！















